

UKSpace2015 参加報告

2015年8月19日



葛岡 成樹



©UK Space Community

目次

概要 :	1
感想 :	1
講演 :	2
展示 :	2
ちょっと一言.....	2

概要 :

UK Space Community 主催の UKSpace2015 が 2015 年 7 月 13 日から 15 日の間、英国リバプールにて開催された。UK Space Community とは、英国の宇宙機関である UK Space Agency や政府の産業育成機関(Catapult や Innovate UK など)、英国宇宙工業会(UK Space Trade Association)、さらには Airbus Defence&Security などの民間企業も参加してこの UKSpace2015 を開催するために組織化したコミュニティである。

UKSpace は 2 年に一度開かれているようだが、今回は従来よりも大幅に大規模化したとのことであり、参加者は 1,100 人、出展企業は 100 社/組織と一つの国の宇宙機関・産業のコンファレンスとしては大規模なものであった。メインテーマは SPACE-ENABLED FUTURES であり、多数の講演・展示が行われた。

感想 :

今回初めて参加した会議であり、前回との比較ができないが、他のコンファレンスと比べての感想を 2 点以下に示す。

- 英国の宇宙活動全般を規定する Space IGS
英国の宇宙活動全般を規定する「Space Innovation & Growth Strategy (Space IGS)」が絶えず言及されていた。IGS では 2013 年から 2030 年までに予算を 400 億ポンド (5 兆 7,300 億円) に増大させ 10 万人の雇用を創出し、世界の宇宙産業の 10% のシェアを占めることを目標にしている (現在は 6%)。
- 産業化、産業支援
IGS 実現の具体的施策として、オックスフォード近郊の Harwell に開発拠点を設けて、とくに産業化・産業支援に力を入れている。今回のコンファレンスでも、産業化・産業支援

として宇宙関係機関だけではなく、政府全体での産業支援組織、投資組織、民間の投資会社などからのプレゼン・展示が多かった。むしろ講演会の最後の総合討論では、サイエンスの人が少ないとのコメントがあり、エコノミー/ポリティクスだけでなくサイエンスも重要という意見が出たほどであった。

お問い合わせは：



葛岡 成樹

講演：

以下略

展示：

以下略

ちょっと一言

英国リバプールはビートルズの故郷という程度の認識で参加したものの、会場である **Arena & Convention Center** に行ってみるとびっくり。もともと大英帝国が大西洋に乗り出す輸出基地が一度さびれた後に、大リニューアルした街になっていた。観光用の赤煉瓦街や係留された帆船、ホテルや観覧車がある港地区のなかに国際会議・展示場がある。ここはちょうど横浜みなとみらい地区そのもの。ビートルズはしっかり観光資源になっており、世界中からの観光客目当てにレストランもフランス・イタリア・ブラジルとそれなりのレベルが揃っていた。英国も観光地となると、フィッシュ&チップスしか食べるものがないというところから脱皮したようだ。



以上